

お知らせ

記者発表資料	平成30年11月12日
配布日時	14:00

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、広島県政記者クラブ



歴史と浪漫が会う鞆のオアシス

～ 「みなと」を核とした賑わい創出！ ～

「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」登録証交付式のお知らせ

国土交通省港湾局は、平成30年11月14日に「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」（広島県福山市）を賑わいの拠点となる「みなとオアシス」に登録し、代表施設である「福山市営渡船場」等において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを行います。

なお、下記のとおり、クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」の寄港に併せて、「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」の登録証交付式を開催するとともに、祝い餅投げ等も行われます。

- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設。を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」の登録により「みなとオアシス」は中国地方で23箇所（全国126箇所）になります。

記

- 日時 平成30年11月14日（水）12:00～12:35
 - 場所 広島県福山市鞆町鞆747（常夜燈前）
 - 出席者 福山市長、地元関係者、国土交通省 他
- ※登録証交付式終了後は、沖合に停泊したクルーズ船「ぱしふいっくびいなす」の乗客が、テnderボートによりみなとオアシスの構成施設である「広島県営2号栈橋」から上陸されますので、そのお出迎えを行います。



福山市営渡船場内の
カフェ「SHION（潮音）」からの眺め



沖合に停泊した「ぱしふいっくびいなす」



（参考）テnderボートによる上陸

※ みなとオアシス： 旅客船ターミナル、文化交流施設、みなとの資料館、情報提供施設、地元産品の物販施設や飲食施設などで構成されています。「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」の詳細は別紙-1、「みなとオアシス」の詳細は別紙-2をご参照願います。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3928(直通)(平日・昼間)
クルーズ振興・港湾物流企画室長 津田 行男 課長補佐 二原 和教

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3905(直通)(平日・昼間)
計画企画官 近藤 拓也



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成



【基本情報】	
設置者	福山市
運営者	公益社団法人福山観光コンベンション協会
所在港湾	福山港【重要港湾】
港湾管理者	広島県

【代表施設】



福山市営渡船場

【主なイベント】



鞆の浦弁天島花火大会



鞆・町並みひな祭



鞆の浦観光鯛網

しおまち みなと とも うら
 みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦 “潮待ちの港”の歴史

近世港湾5施設

常夜燈



鞆港西側の雁木の南端に立つ常夜燈は、何と言っても鞆の浦の1番のシンボルです。安政6年（1859年）に建てられた船の出入りを誘導してきた燈台で、燈の高さは5.5m、基礎石は3.6mで雁木や船番所とともに鞆の港の歴史を物語っています。

雁木



潮の干満に関らず船着けできる石階段、それが雁木です。雁が飛ぶさまに似ていることから「雁木」と呼ばれています。全国でも類のない鞆の浦の雁木の雄大さ。今では、鞆の浦の代表的な景観として、住民や観光客がゆったり腰を下ろす憩い場となっています。

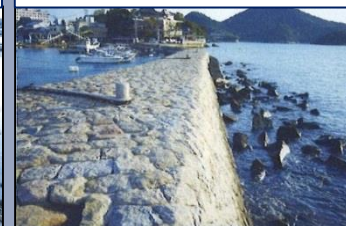
船番所跡



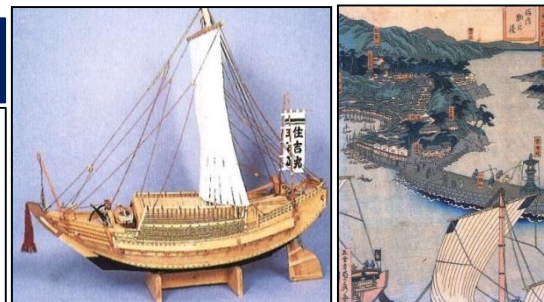
焚場（たでば）跡



波止



北前船



時代を先取りする人と文化が集まる町

鞆の浦は昔から潮待ちの港として栄え、豊かな文化を育んできました。満ち潮になると西は豊後水道や関門海峡から、東は紀伊水道から潮が入り、鞆の浦沖でぶつかります。やがて西廻り航路が開発され、北前船などの商船が出入りするようになると港町としてさらに発展しました。

江戸時代には朝鮮通信使やシーボルトを伴ったオランダ商館長の一行が入港するなど国際都市の一面ものぞかせ、時代を先取りして進化し続けました。

歴史的な遺産も多く見られ、江戸時代の港湾施設である常夜燈、雁木、波止、焚場跡、船番所跡が残っています。



江戸から明治中期にかけて、大坂（大阪）から瀬戸内海、山陰、北陸、東北を経て北海道に至る西廻り航路に従事した船は近世物流の大動脈を担っていました。西廻り航路を走る船を北前船と呼ぶようになり、鞆の浦も寄港地として発展していきました。

日本海や北海道の港から江戸や大阪へ、米や魚などが船で運ばれており、瀬戸内海をとって大阪・江戸へ向かう西廻り航路か、津軽海峡をとって江戸へ向かう東廻り航路を利用しました。

観光鯛網と名産グルメ

 しおま みなと とも うら
潮待ちの港 鞆の浦
みなとオアシス

鞆の浦 初夏の風物詩 ～観光鯛網～

鯛網は、鞆の浦に約380年も伝わる伝統漁法です。外洋で冬を過ごした鯛は初夏、豊後水道・紀伊水道を抜けて、産卵のため波穏やかな瀬戸内海中央部の鞆の浦沖へとやってきます。一般の方も観光船の船上で潮風に吹かれながら、漁の様子を見学でき、古式そのままに網がしぼられ、力強さと繊細さを感じられる情景は見る人の心に刻まれることでしょう。



Web「鞆物語」より抜粋



うずみごはん



鯛めし



鯛茶漬け



鯛そうめん



保命酒

鞆の浦名物といえば、やはり“鯛”です。鯛めしや鯛茶漬けといった定番から、鯛そうめんなど他ではあまり味わえないメニューもあります。また、保命酒は生薬を含むことから「瀬戸内の養命酒」とも呼ばれる鞆の浦名産のリキュールで、みなとオアシスの周辺では、これらの味覚を堪能することができます。

他にうずみごはんは、ぜいたく品とされた具材をご飯に隠して食していたことがはじまりとされる、福山の郷土料理です。みなとオアシスにお越しの際には、是非ご賞味ください。

平成いろは丸と坂本龍馬

幕末・維新ゆかりの地 福山・鞆の浦と平成いろは丸

鞆の浦福山市営渡船場から仙酔島行きのフェリー「平成いろは丸」が運航しています。「いろは丸」とは坂本龍馬率いる海援隊の乗り込んだ蒸気船です。



弁天島×平成いろは丸

渡船場×平成いろは丸

坂本龍馬ゆかりの施設を見学することができる！ 命がけの交渉を辿る！



常に暗殺の危機にありながら、決死の覚悟で沈没事件の談判を重ねた坂本龍馬ゆかりの施設を見学できます。

福山市イメージキャラクター「鞆龍馬」→



福禅寺 對潮楼（龍馬談判跡）



榎屋清右衛門宅（龍馬宿泊跡）

150年の時をこえて「いろは丸事件」の足跡をたどる

いろは丸事件とは？

慶応3年(1867年)4月23日 午後11時頃
いろは丸が紀州藩船「明光丸」と鞆の浦沖で衝突・損傷。
4月24日 午前4時頃 鞆に曳航中沈没。
その後紀州藩との談判を開始します。



旧魚屋萬蔵宅(龍馬談判跡)



太田家住宅（鞆七卿落遺跡）



いろは丸展示館

展示室には海底から引き揚げられた遺物などがあります。



いろは丸展示館 室内展示

そして、龍馬と紀州藩との戦いは鞆の浦から長崎へ
ぜひ「みなとオアシスNAGASAKI」へもお越しください。



榎屋清右衛門宅 旧魚屋萬蔵宅 弁天島 市営渡船場（みなとオアシス主要施設） 福禅寺對潮楼 いろは丸展示館 太田家住宅 位置図

交通アクセス

鞆の浦は、JR福山駅から約20kmの距離にあり、代表施設である「福山市営渡船場」にはバス、車、期間限定の「瀬戸内クルージング」でお越しいただけます。

<バス>

○JR福山駅南口 5番バスのりば（約30分）料金：大人550円
日中は1時間に3～5本運行。

<車>

○大阪方面から：中国・山陽自動車道 福山東IC下車→
国道182号線を南下→入江大橋→県道水呑手城線を南へ
芦田川大橋→主要地方道福山鞆線（約35分）
○広島方面から：山陽自動車道 福山S AスマートIC下車→
県道津之郷山守線→国道2号→市道芦田川右岸を南下→主要
地方道福山鞆線（約40分）

<旅客船>

○尾道から：「尾道駅前」と「千光寺ロープウェイ下棧橋」から
約1時間ほどで到着。（※尾道～鞆の浦間は季節航路）
土日祝のみの運行 JR尾道駅前棧橋発は10時、13時の2便
片道2,500円

観光案内の問合せ先

【福山市役所観光課】 電話：084-928-1042

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kanko/>

【福山観光コンベンション協会】 電話：084-926-2649

<http://www.fukuyama-kanko.com/>

周辺の宿泊情報

歴史の町並みを楽しむ他にも、映画やロケ地として有名な鞆の浦は
ロケ地巡りを目当てに訪れる観光客も少なくありません。

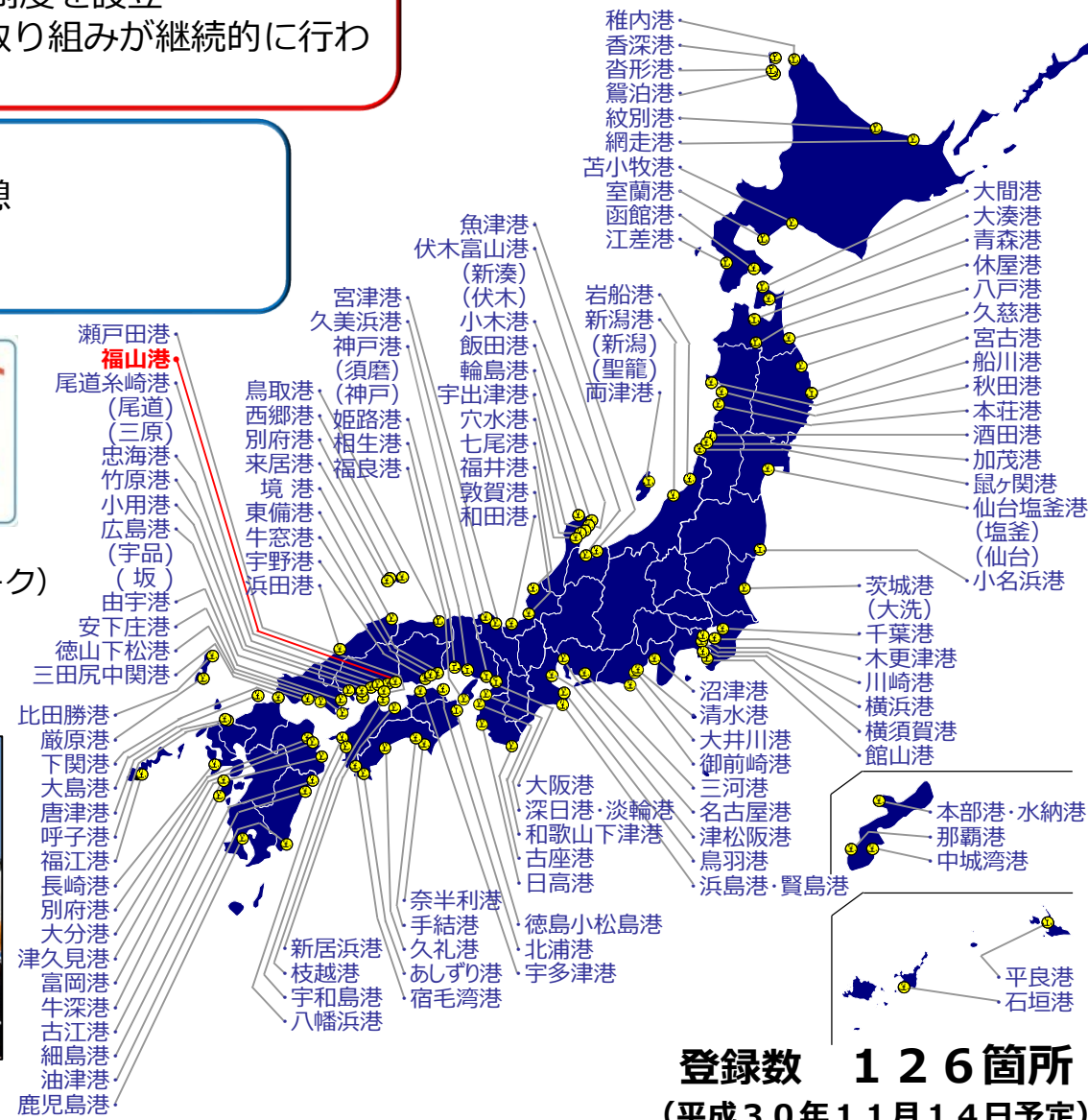
美しいドラマや映画の舞台を楽しみながら宿泊してみたいはいかがですか。

【福山観光コンベンション協会】 電話：084-926-2649

<http://www.fukuyama-kanko.com/>



みなとオアシス所在港湾の一覧



標章 (シンボルマーク)

○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他 (災害時の支援、商業機能 など)

○みなとオアシスの構成施設

- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店
- ・文化交流施設 など

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体 (港湾管理者含む)
- ・NPO団体、協議会 など



構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況

登録数 126箇所
(平成30年11月14日予定)